

倒置法 とうち 言葉の順序をかえることで、意味を強めたりリズムをととのえる方法です。

たちねの母がつりたる青蚊帳がやをすがしといねつたるみたれども

長塚節 ながつか たかし

問 次のなかで倒置法を用いている短歌を二つ選びなさい。

ア あをによし奈良の都は咲く花のにほぶがごとく今盛りなり

小野老 おの おゆ

イ 霜やけの小さき手して蜜柑むくわが子しのばゆ風のさむきに

落合直文 おちあいのなおぶみ

ウ いつしかに春の名残なごりとなりにけり昆布干場のたんぼほの花

北原白秋 きたはらはくへいしゅう

エ ゆく秋の大和やまとの国の薬師寺やくしじの塔とうの上なる一ひらの雲

佐佐木信綱 ささきのぶつな

オ 金色こんじきのちひさぎ鳥いのかたちしていてふちるなり夕日ちゆうじつの岡おか

与謝野晶子 よせのあきこ